

新編武藏國風土記稿

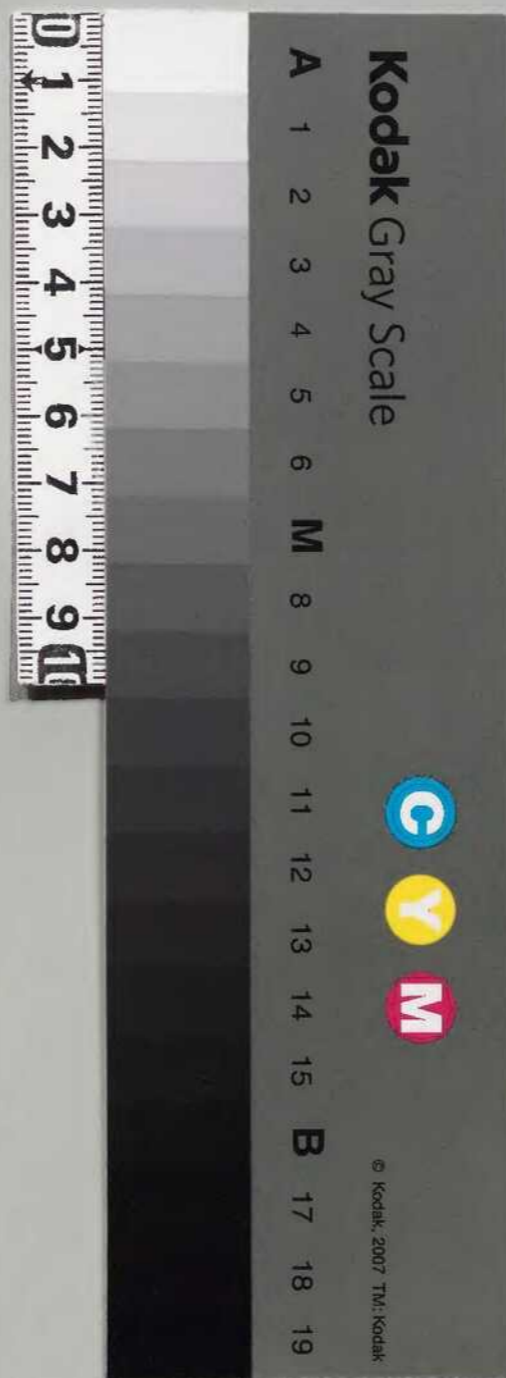
都筑郡

卷之八十三

| | | | |
|------|------|------|------|
| 和書門 | | | |
| 一六五〇 | 二二一〇 | 二二二〇 | 二二五〇 |
| 號 | 函 | 架 | 冊 |

| | | |
|------|------|------|
| 內閣文庫 | | |
| 一三二〇 | 二二五〇 | 二二五〇 |
| 號 | 冊 | 架 |
| 和書 | | |

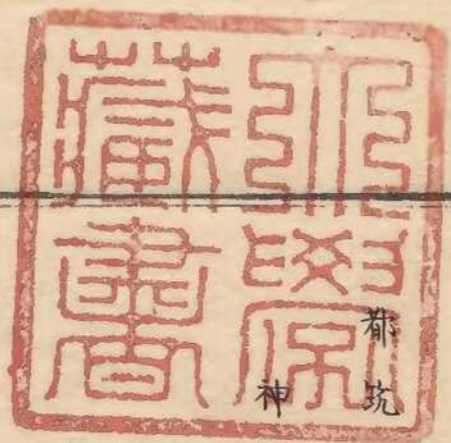
| | |
|------|-----------|
| 內閣文庫 | |
| 番號 | 和 16510 |
| 冊數 | 255 (81) |
| 函號 | 173 210 |



同治五年
五月

新加坡大坡大馬路門牌...

...



新編武藏風土記卷之八十三目錄

淺草文庫

郡之三
奈川領
二保川村
密經新田

上星川村

猿山村

中山村

榎下村

榎下村
枝柳
基村

十日市場村

西八朔村

北八朔村

新編武藏風土記卷之八十三

都筑郡之三

二俣川村

二俣川村。郡ノ南ニアリ。コノ地名ハ東鑑ナドニ
 モノセテ。フルクヨリモキコエタリ。土人ノ傳ヘニ。
 隣村長津田川井ノニ村ヨリ涌出スルニ條ノ小川
 アリ。ソノ川村ノ東ノ方ニ合シ。一條トナル所ニ
 フナスニヨリトナヘハシメシナリト。古ハ御厨郷
 捺ヶ谷庄ニ屬セシト云。又初ハ小机領ニ屬セシガ。後

神奈川領ニ改ニリレトゾ。江戸日本橋ヨリ行程
十里ニアレリ。家數百五十二軒。村ノ四隣ハ東ノ
方川島市野澤ノ二村ニツビキ。南ハ今井村。オヨビ
相州鎌倉郡奈瀬岡津ノ二村ニ接シ。西モ同國阿久
和村ト。當郡上下川井村トニテ。北ハ今宿村ナリ。東
西三十丁餘。南北二十五丁ホド。郡中ノ大村ニレテ。
且山谷ノ間ナレバ。ソノヤニ他村ニハ似ズ。村民ノ
住スル所。スベテ四區ニワカレテ村落ヲナス。榛ヶ谷。
勝部谷。本病。ニ又川等ノ地名アリ。カク區々ニワカ
レ。且小高。新田ノ地。南ノ方ニ錯リタレバ。鹽取。コト

コトク辨スベカラズ。水田少クシテ。陸田多シ。土性
ハ黒野土ニ砂交レリ。水旱トモニ患アリ。村内ニ一
條ノ往還アリ。神奈川病ヨリ相州へ達スル道アリ。
東ノ方川島村ヨリ入。村内ヲ過レテ三十丁餘ニレ
テ。西ノ方川井今宿ニ村ノ間ニ達ス。道幅三四間。此
道ノ半ヨリ。南ノ方相州奈瀬村へ達スル捷徑アリ。
又古ノ鎌倉道トイヘル所アリ。北ノ方ヨリ東ノ方
川島坂ニ達ス。此道ヲ長堀通。或ハ長堀臺トモ云。今
宿村ヨリ相州奈瀬村へ達ス。此道今モ戸塚ノ内吉
田橋ノ辺ニテ通ビリ。長ヲ二十丁バカリ。道幅二間

餘。猶下ニノスル古戰場ノ條ト。アハセミルベシ。當
村小田原北條分國ノ比ハ。岩本和泉ガ知行。十一貫
五百五十文ノヨレ。役帳ニノス。又土人ノ話ニ古ハ
栗原右近ト云モノ知行セシコトアリレト云。御
入國ノ後ハ。彦坂小刑部ガ支配所ナリ。慶長六年。村
内ノ割テ。宅間治部少輔規富ニ賜レテヨリ。今ソノ
子孫與右衛門知行セリ。コノ餘天正十九年。渡邊孫
三郎勝。元和二年十月。編富宮内重次。二人ニ賜ヘリ。
コレヨリ今ニソノ子孫編富内記直賢。渡邊榮之助
某等ガ知ル所ナリ。餘ハスベテ昔ヨリ御代官所ニ

シテ。伊奈半十郎忠治。小刑部ニツヒテ支配シ。ソノ
子孫ニテモ預リ奉リシガ。正徳四年ニ至リ。新田ヨ
メジヘテ。新見某ニ賜リ。同五年ニ。安藤志摩守定知
ニ賜リ。今子孫安藤八郎右衛門定名。新見七右衛門
等知行セリ。サレバ御料ノ地ワツカニ残り。今ハ大
貫次右衛門光豊支配セリ。檢地ハ元禄八年。安藤對
馬守重治奉行シテタメセリ。コノ餘宅間與右衛門
ガ知行ハ。延寶七年ニ檢地セシコトモアリシトイ
フ。

高札場 四ヶ所 一ハ字本宿ノ内板橋ニアリ。村

ノ南ニアタレリ。一ハ東ノ方字膳部谷ノ内ニア
リ。一ハ字榛ヶ谷ノ内ニアリ。コレモ東ノ方ナリ。
一ハ字ニ又川ノ内ニアリ。コレモマタソノ東ノ
方ナリ。

小名

當村ハ頗ル廣クシテスベテ四區ニワカ
レタレバ。小名ト云モノ。他ノ一村ノゴト
シ。ユヘニ小名ノウチニ字アリテ各別ニ
一區ヲナセリ。

本宿

村ノ東南ノ方ナリ。コノ地ノツバキトモ隣村ヲ今
宿ト云。恐ラクハコノ本宿ハ昔ノ驛場ナドニテ今
宿モモトハニ又川ノ内ナリレガ。一旦カノ驛場ヲ
移セシコトアルニ。天正十九年。渡邊孫三郎勝ニ
賜リレヨリ。今ニソノ子孫渡邊榮之丞ガ知行ナリ。
字

長坂臺 東ノ方。

小田 南ノ方ナリ。

宮澤 西ノ方ナリ。

内田 百姓惣右衛門ガ先祖内田左近ガ

カ、ヘレ地ナレユヘ。コノ名オコレ。

膳部谷

村ノ西南ヨリ。東ノ方ヘカケテカク云。元禄年中改
定ノ國圖ニハ。二俣川村ノ内膳部谷トアリ。其以前
ヨリ分レシ小名ナレユトレレベシ。慶長六年。宅間
治部少輔規富。此地ヲ賜リレヨリ。今ニソノ子孫典
右衛門知行ヒリ。

字

榛ノ木 北ノ方ナリ。

淨運山 東南ノ方ナリ。

淨満谷 東ノ方ナリ。

彌八新場 北ノ方ナリ。

榛ヶ谷

村ノ中央ヨリ南ノカタヘカケテノ小名ナリ。按
當郡及ビ橘樹郡ヘカケテ。榛ヶ谷ト云庄名アリ。
レ當所ノ地名ヨリ起レ唱ナルベシ。元和二年十
月。稻富宮内重次ニ賜ハリテヨリ。今ソノ子孫内記
直賢知行ヒリ。

字

ドウミン谷 文字詳ナラズト云。オモウ
 他ノ地名ニ道満ト呼フ所ニ、アリ。
 コレモ道満トカクベキ歟。南ノ方ニ
 ル地ナリ。
 万騎内 又ニキノ原トモ呼ベリ。中央ヨ
 リスコシク南ニヨリクル所ナリ。
 横谷 西ノ方ナリ。
 堂ノ前 中央ニテ長昌寺ノ門前ナリ。
 二又川
 村ノ北ノ方ナリ。コノ地村名ノオコリレ地ナレニ

正徳四年。新見某ニタニハリ。子孫七右衛門知行
 也。

字

北中尾 西ノ方ナリ。
 南中尾 コレモ同邊ナリ。
 又口 南ノ方ナリ。
 宮澤 小名又口ヨリ南ナリ。
 打越 北ニヨリタル所ナリ。
 野中 東ノ方ナリ。
 柏谷 南ノ隅ナリ。

四方坂 中央ノ高キ所ナリ。相州道ノ中
ホトニアケレリ。

山川

四方坂 村ノ中央ニテ。ニ又川ノ内ナリ。コノ坂ノ
上高峻ノ地ニレテ。四方ヲ見渡シ。眺望イト佳ナ
レ所ナリ。故ニコノ名アリ。
オカシ坂 村ノ東本宿ノ内ニアリ。土人ノ話ニ。鎌
倉將軍時代。當所遊獵ノトト。將軍家ノ乗輿ヲタ
テシ所ナレ故。オカゴ坂トイヒシヲ。語路ノ便宜
ニシタガヒテ。カク唱ヘタリト云ヘリ。ウケガタ

キ説ナリ。

二俣川 水原ハニ流ニテ。一ハ西ヨリ南ノ方字様
ノ木トイヘレ所ノ山間ヨリ出テ東流ス。又一流
ハ南ノ方ノ谷ヨリ出。村ノ中央ニテニ流アヒテ。
一流トナリ。東ノ方川島村へ達ス。村内へカレ
コト一里バカリ。川幅三間ホド。末流ハ惟子川ナ
リ。

橋梁

板橋 無名ノ橋ナリ。東ノ方ニ俣川ニ架ス。長五間

幅八尺。

水利

溜井 村ノ南本宿ノ内ニアリ。大ケ五百坪バカリ。ソノ邊ノ用水ナリ。榛ヶ谷。膳部。ニ又川等ノ地ハ。スベテ天水ヲタ、ヘテ耕種ヒリ。

神社

神明社 五除地 本宿ノ内字幸田谷ニアリ。ソノ邊

ノ鎮守ナリ。勸請ノ年代ヲ傳ヘズ。ニ間ニ三間ノ社ニテ。南向ナリ。前ニ木ノ鳥居ヲタツ。社地スコレク高キ所ニテ。古松一株タテリ。例祭ハ九月ニ

十日ナリ。一ノ淨村長見寺持。

山王社 五除地 榛ヶ谷ノ内北ノ方ニテ。コレモツ

ツカニ高キ所ナリ。ソノ所ノ鎮守トス。社ハニ間ニ三間。巽向ニテ。前ニ木ノ鳥居ヲタツ。石階ソコハクアリ。社地ハ松樹雜木等繁茂シテ森々ナリ。

例祭年々九月十四日。長昌寺持。

神明社 一除地 村ノ民ノ方下膳部ノ内ニアリ。寛

永十九年。宅間三十郎檀那トシテ造立セシ棟札アリ。コノ時ヨリノ鎮座ナレニヤ。村内字ニ又川。及ビ今宿村等ノ惣鎮守ナリ。社ハ三間ニ三間。巽

向ナリ。例祭九月十一日。村持。

神明社 五除地 二又川ノ内字又口ニアリ。鎮坐ノ

年代ヲシラズ。村持。

稲荷社 一社 畝地 字四方坂ニアリ。ワヅガナル祠ナ

リ。

神明社 一除地 上膳部ノ東ノ方。妙蓮寺ノ左ニア

リ。寛永十二年。宅間伊織造立ノ棟札アリ。社前ニ

木ノ鳥居ヲタツ。村持。

末社

稲荷祠 本社ノ左ニアリ。

寺院

浄性院 本廟ノ内中央ヨリ北ニヨリテアリ。免除

地ニ斗五升ノ地ヲ領シテ。境内モソノ内ナリ。浄

土宗ニテ。古ハ京都知恩院ノ末寺ナリシガ。イツ

ノ比カ相列録念光明寺ノ末ニ属ヒリ。源圓山ト

號ス。起立ノ来由ヲ尋ヌルニ。昔此所ノ地頭渡邊

富次ガコノ地ヲ巡行ヒシトキ。長安寺トイヘレ

廢寺アリシニヨリ。ソノアトヘツキテ再興シ。ア

ラタノテ浄性院ト號セリ。長安寺ノコトハ。宗旨

及ビ開闢ノコトニ至ルニテ。都テ傳ハラス。富次

ガ又孫三郎勝。元正十九年。當所ヲ賜ハリシト云
トキハ。再興ノ年代モ推テレルベシ。本堂七間
六間。東向ナリ。本尊彌陀木ノ坐像。長二尺八寸ハ
カリ。惠心ノ作ナリト云。開山ノ僧ハ。ソノ名ヲツ
タヘズ。

鐘樓 本堂ニ向テ左ニアリ。七尺四方。鐘ハ天明
八年ニ造リレモノナリト云。

地藏堂 本堂ノ東ナル丘ノ下ニアリ。三間半四
方。地藏ハ木ノ立像ニテ。長二尺五寸バカリ。ユ
ノ堂ヲ長安寺ト號スルハ。モトノ廢寺ノ號ヲ

存スルナリト云。オモフニコノ地藏ハ。昔ノ本
尊ナドニテヤアリケシ。

長昌寺

除地ニ千 棲ケ谷ノ内ニテ。北ニ寄タル
八百坪

所ニアリ。曹洞宗。相列愛甲郡飯山村金剛寺末。永
谷山ト號ス。本堂七間ニ五間。南向ナリ。本尊釋迦
木ノ坐像長一尺八寸バカリ。服士ニ軀。各八寸ハ
カリ。本山第六世柳顔開闢セリ。柳顔ハ寛文三年
九月二十三日。七十歳ニシテ寂セリト云。

白山社 門ヲ入テ左ニアリ。小社ナリ。

妙蓮寺

除地一段 上膳部ノ東ニアリ。法華宗。豊
四畝廿歩

島郡雜司谷村法明寺末。松久山ト號ス。本山第
二世日曉ガ起立スル所ナリト云。日曉ハ万治二
年四月八日寂セリ。開基ハ宅間織部忠次ナリト
云。寛永五年草創ノヨレ。棟札ニレレセリ。客殿七
間半。七間。本尊三寶ヲ安ス。
祖師堂 客殿ノ左ニアリ。三間四方。
鬼子母神堂 客殿ノ後ニアリ。九尺四方。
三佛寺 除地ニ段 村ノ中央ヨリスコシク北ニ當リテ
アリ。下膳部ノ北ノ方ナリ。淨土宗。瀧山大善寺末。
峯鶴山則相院ト號ス。開基ハ地頭宅間治部少輔

規富ト云。元和七年正月十六日卒セリ。開山ハ昆
蒼檀齋ト云。寛永七年四月五日卒セリ。客殿八間
ニ六間。巽ニ向ヘリ。本尊ハ三尊ノ彌陀。木ノ立像
長三尺バカリ。其餘立像ノ地藏アリ。コレモ長三
尺餘ナリ。イヅレモ聖徳太子ノ作ラセ玉フ像ナ
リト云。
鐘樓 客殿ニ向テ右ニアリ。九尺四方ナリ。鐘ハ
寶曆十一年ニ鑄レモノナリ。
觀音堂 客殿ニ向テ左ノ方ニアリ。三間四方。觀
音ハ木ノ立像ニテ長一尺コレモ聖徳太子ノ

作リタニヒレモノナリト云傳フ。

舊蹟

古戰場 鶴ヶ峯ノ邊ヲイヘリ。元久二年。畠山次郎重忠。鎌倉ヨリノ討手。北條相模守ト合戦シテ。討死セシ所ナリ。東鑑云。元久二年六月二十二日戊申快晴。寅尅鎌倉中驚遽。軍兵競先于由比濱之邊。可被誅。謀叛之輩。畠山六郎云云。依之奉仰以佐久間太郎等。相圍重保之處。雖爭雌雄。不能破多勢。主徒共被誅云云。又畠山次郎重忠參上之由。風聞之間。於路次可誅之由。有其沙汰。相州已下被進發。軍

兵悉以從之。仍少祇候于御所中之輩。于時問注所入道善信。相談于廣元朝臣云。朱雀院御時。將門起於東國。雖隔數日之行程。於洛陽猶有如固關之構。上東西兩門元土始被建扉。矧重忠之莅。未近所欵。盍廻用意哉云云。依之遠州候御前給。召上四百人之壯士。被回御所之四面。次軍兵等進發。大手大將軍相州也。先陣葛西兵衛尉清重。後陣坂平次兵衛尉常秀。大須賀四郎胤信。國分五郎胤通。相馬五郎義胤。東平太重胤也。其外足利三郎義氏。小山左衛門尉朝政。三浦兵衛尉義村。同九郎胤義。長沼五郎

宗政。結城七郎朝光。宇都宮彌三郎賴綱。筑後左衛門尉知重。安達藤九郎右衛門尉景盛。中條藤右衛門尉家長。同前田平右衛門尉義季。狩野入道。宇佐美右衛門尉祐茂。波多野小次郎忠綱。松田次郎有綱。土屋彌三郎宗光。河越次郎重時。同三郎重負。江戸太郎忠重。淡河武者所。小野寺太郎秀通。下河邊庄司行平。齒田七郎。并大井。品河。春日部。潮田。鹿嶋。小栗。行方之輩。兒玉。橫山。金子。村山。黨者。共皆揚鞭。關戶大將軍式部丞時房。和田左衛門尉義盛也。前後軍兵如雲霞兮。列山滿野。午赴著於武藏國二

侯河。相逢于重忠重忠云。十九日。出小倉郡菅屋館。今著此澤也。折節舍弟長野三郎重清。在信濃國。同弟六郎重宗在奧州。然間相從之輩。二男小次郎重秀。郎從本田次郎近常。榛澤六郎成清。已下百三十四騎。陣于鶴峯之麓。而重保今朝蒙誅之上。軍兵又裹來之由。於此所聞之。近常成清等云。如聞者討手不知幾千萬騎。吾衆更難敵。件威勢。早退歸于本所。相待討手。可遂合戰云云。重忠云。其儀不可然。忘家忘親者。將軍本意也。隨而重保被誅之後。不能顧本所。去正治之頃。景時辭一宮館。出途中伏誅。似惜暫時

之命。且又兼似有陰謀企。可耻賢察。故尤可存後車
之誠云云。爰襲來軍兵等。各懸意於先陣。欲貽譽於
後代。其中安達藤九郎右衛門尉景盛。引卒野田典
一。加治次郎。飽間太郎。鶴見平次。玉村太郎。共藤次
等。畢。主從七騎進先登。取弓挾鎬。重忠見之。以金吾
者弓馬放遊旧友也。拔萬人趣一陣。何不感之哉。重
秀對于彼。可輕命之。由加下知。仍挑戰及數反。加
治次郎宗季已下。多以為重忠被誅。凡弓箭之戰。刀
劍之爭。雖移剋。無其勝負之處。及申剋。愛甲三郎季
隆之所發箭。中重忠_{年十四}之身。季隆即取彼首。獻相

列之陣。余之後。小次郎重秀。年十三母石并郎從
衛門尉遠元女等自殺之間。輝屬無為云々。今府中病。り南ノ方。
玉川ヲ、ヘテ関戸ノ方。鎌倉ノ右道アリ。其道、
り南折シテ此處へ出シ、

密^{ミツ}経^{キヤク}新田

密経新田ハ。貞享四年。小高市右衛門が新墾ノコト
ヲ企シトキ。此地モトモヒラカントセシガ。イカ
ニモ廣漠ノ地ニシテ。俄ニ功ヲ遂ガタキヲモテ猶
預セシガ。ソノ後玉置小兵衛ト云モノ。司リテ開墾
セリ。コノ地モトニ俣川村ノ原野ニシテ。所々ニ散
在セルモノヲ合セテ。一村トセシナレバ。モトヨリ
二俣川ノ枝郷ナリ。民家ハカノ玉置小兵衛ガ子孫
一軒ノミニテ。ソノ宅地ハ本村ヨリ南ニアタレル

トコロナリ。ソノ餘ハ所々ニ散在セル地ナレバ。塚
モ辨ズベカラス。土性ハ黒土ニシテ。皆陸田ナリ。ソ
ノ餘ハ小高新田ニ同ジ。

小名

三経 東北ノ方ナリ。

御領四方坂 東ノ方ナリ。

半ヶ谷 同邊ナリ。

阿久和出苜場 南ノ方相列阿久和村ノ

境ナリ。

阿久和膳部臺。コレモ南ノ方ナリ。

上^{ウヘ}星^{ホシ}川^{カハ}村

上星川村ハ。郡ノ南橋樹郡ノ界ニニアリ。今ハ神奈
川領ナレド。古ハ小机領トモイヘリ。江戸日本橋へ
ハ。行程八里餘。村ノ廣狭ハ。東西へ十二町。南北へ五
丁ニアメリ。村内坤ノ方ヨリ乾ノ方へ。川嶋村ノ
地ヲ貫ケリ。サレバ村ノ地ハ自ラニツニ隔リテ。西
ノ方ナルヲ上ト云ヒ。東ノ方ヲ下トイヘリ。四境
ハ東ノ方ハ。橋樹郡和田村。惟子町等ニトナリ。南ハ
坂本。川嶋ノ二村ニ塚ヒ。西ハ白根村ニアリ。北ハ橋樹

郡羽澤村。當郡上菅田村ニツバケリ。家數六十一軒。
スベテ村内山ニツヒテ。田ハ谷間ノ地ニ作レサレ
ド用水不便ナレバ。早損ノ患多シ。故ニ良ノ方ニ溜
井ヲ設ケテ引用ス。土性ハ真土。或ハ黒土砂交ハレ
リ。檢地ハ寛永二十二年。富田半之丞。成瀬忠右衛門
等ニテ。新田ノ方ハ。明和四年。辻源五郎檢地ス。星川
ノ地名ハ。郡ノ惣説ニ辨ゼシゴトク。和名抄久良郡
ノ内ニモ出クレバ。此村ハソノ郷ノモトニシテ。古
クヨリ開ケシナルベシナレド外ノ古記録ニ沙汰
アルコトヲイミタカズ。遙ノ後小田原北條分國

ノ頃ハ。カノ所領役帳ニ。六郷殿世四貫九百四十文。
小札筋星川。又向星川トアルモ。今上下星川ト唱フ
ルニ村ナルベシ。御入國ノ後。正保ノ頃ハ。當村及
川島村ヲ。山本平九郎ガ米邑ニ賜ハレリ。今御料ハ
小野田三郎右衛門信利支配シ。私領ハ御醫師船橋
宗迪ノ知行ナリ。村内一條ノ道アリ。川島村ヨリ入。
中央ヲ通ジ。橋樹邸帷子町へ達ス。村内ヲ通ハレ長
十二丁許。道幅三間。秣場ハ北ノ方ニテ。十二丁八反
三畝十三歩アリ。隣村川島村ト入會ナリ。
高札場村ノ北ニアリ。船橋宗迪ガ米地ノ内ナリ。

小名

下耕地

八幡谷

堀先

中耕地

猪子山下

菅田谷

山王谷通

寺田袋

四段田

以上共ニ東ノ方ニアリ。

以上ニケ所。共ニ南ヨリヲ云。

西ノ方ヲ云。

イヅレモ村ノ北ヨリニアリ。

坤ノ方ヲ云。

コレモ同邊ニアリ。

山川

釜壇山 村ノ東ニアリ。高十三丈ばかり。山上ニ塚

アリ。コニ石ヲ重テ上ノ石ニハ。中ニ丸キ穴ヲ

ウガテリ。土人ノ傳ヘニハ。昔右大将頼朝卿。富士

野ニ狩ヒラレシ時。茶ヲタテシ釜壇ノ石ナリト

云。此説尤ウケガヒカタシ。入間野。或ハ那須野ノ

狩トイハシハ。サモアルベキヲ。富士野ニテハ。地

理ノ次身モタガヘルニ似タリ。頼朝ノコトハシ

ハラク置テ。武田北條家ナドノ陣所ノ舊跡ナド

イハシハ。サモアルベキカ。土人ノ傳ヘノミ

。シバラク。ル。ス。村民此石ノ苔ヲトリテ。風邪
或ハ咳ナド病モノ。一飲シムレハ。必愈ルト云。平
愈ヒシ時ハ。竹ノ筒へ酒ヲ入テ。サハグルトイへ
リ。此山ノ東ノ裾通りニ。西東へ下ル坂アリ。コレ
ヲ車坂ト云。

帷子川 西ノ方川島村ヨリ村内南界ヒラへテ。巽
ノ方橋樹郡帷子町へ達ス。川幅六間ばかり。長サ二
十五町ニアテレリ。此川ノ支流。南ノ方へ引テ。用
水ノ便リトセリ。
上菅田川 北ノ方。上菅田村ヨリ入。菅田中央ヲ流

テ。帷子川ニ合ス。尤細流ナリ。

神社

杉山社 除地 村ノ東ノ方ニアリ。覆屋三間ニ

間半。内ニ小社ヲ置。巽向ナリ。社前ニ鳥居ヲタツ。

村ノ惣領守ニシテ。例祭ハ九月十八日。村民ノ持。

下ノ三社ハ村持ナリ。

山王社 除地 村ノ西ニアリ。船橋宗廻ガ采地ノ内

ナリ。

八幡社 除地 村ノ良ノ方ニアリ。南ニ向テ。御料

ノ方ナリ。

神明社

除地一畝五歩

村ノ東ニアリ。南ニ向フ。

第六天社

除地一畝

村ノ中央ニアリ。村内妙福寺持。

寺院

妙福寺

年貢地一畝四畝

村ノ中央ニアリ。法華宗。相州

愛甲郡金田村妙福寺末。星川山ト號ス。開山ハ寂

靜院日賢ト云リ。ソノ寂年ヲ傳ヘズ。客殿五間ニ

四間。南向ナリ。本尊三寶ヲ安ス。昔ヨリコノ山上

ニ小庵ヲ立置シガ。イツノ頃カ此處ヘ引テ一寺

トセリ。船橋宗迪ガ糸地ニアリ。

題目石碑 客殿ニ向テ右ノ方山ノ半腹ニ立リ。

高ク九尺ばかり。

東光寺

除地一畝六畝

村ノ良ノ方ニアリ。禅宗曹洞派。

橘樹郡小机村雲松院末。薬王山ト称ス。開山ハ堯

室宗舜。正保二年六月朔日寂ス。客殿六間半ニ五

間。西南ノ方ニ向フ。本尊薬師。座像ニシテ長ク一尺

八寸ばかり。行基ノ作ナリト云。

猿山イハ村

猿山村ハ。郡ノ東ニアリ。小机庄ト唱フ。江戸日本橋ヨリ行程七里。東ハ鴨居村。南ハ白根村。西ハ寺山中山ノニ村ニ接ハリ。北ハ佐江戸池邊ノニ村ニ接ス。東西十丁餘。南北五丁ニアレリ。民家七十軒。大抵村ノ中央ニアツテ住ス。村ノ地東北ノ間ハ平ラカニテ。其餘ハ高シ。土性ハ黒真土ナリ。用水不便ナレバ。多クハ天水ヲ貯ヘテ水田ヲ耕ス。ツレド鶴見川。及ヒ萬藏寺石神谷表谷等ノ三所ノ堀ヨリ。谷

水ヲ引キ用ユレド。是等ノ堀ハ何レモ小渠ナリ。水
田多ク陸田少シ。モトヨリ川ニ傍シ地ナレバ。水溢
ノ患シケクシテ。早損ノ災ハ稀ナリ。村ノ東北ヘソ
ヒテ。八王子道ト唱ル往還アリ。橘樹郡神奈川宿ヨ
リ。多磨郡八王子宿ヘノ通路ニレテ。東ノ方鴨居村
ヨリ村内ヘカ、リ。十丁許ヲ経テ。北ノ中山村ニ達
ス。村名ノ起リハ傳ヘザレド。小田原北條家人役帳
ニモ。三郎景虎知行。猿山三十四貫文。代官遠藤兵部
正ト載タリ。コレ永禄ノコロナリ。御入國ノ後。寛
永年中。

大猷院殿品川ニ於テ武器御覽ノ時。佐野次郎兵
衛政長。武器ノ嗜アリテ。數多貯ヘシコトヲ賞ヒテ
レテ。此地及ヒ佐江戸ノニ村ヲ賜リ。今ニ至テ其子
孫佐渡守某知行セリ。コノ餘スコレク御料ノ地ア
レド。是ハ近キ頃ヨリノ事ニレテ。ステニ正保ノ頃
ノモノニモ見ヘズ。今正保ノモノト。元禄郷帳トテ
ラレニルニ。元禄ノ頃ハ。石高モ増タレハ。同キ八年
安藤對馬守重治檢地セシトキ。打出セシ地ヲ御料
所ニ屬セシナルベシ。今ハ小野田三郎右衛門信利
支配所ニテ。ソノ外ニモ同人御預ニ。段高七畝八步

ノ地。鶴見川ノホトリニアリ。
高札場ニケ所

小名

上北ニアリ。

下東ニアリ。

高倉是モ東ニアリ。

猿山臺是モ東ヲ云。

向山下西ニアリ。

洞山東ニアリ。

石神谷南ニアリ。

打越谷南ヲ云。

鍛冶谷西ヲ云。

柳畑北ヲ云。

山川

鶴見川 村ノ北東ノ境ヲ流レ。川幅五間。北ノ方中

山村ヨリ入。村内ヲ流レ、コト十丁ハカリニシ

テ。東ノ方鴨居村ニ建ス。

神社

白山社 除地ニ畝 村ノ奥ニアリ。山上ニテ高三

四丈ノ阪アリ。當村ノ鎮守ニシテ。勸請ノ年代詳

ナラズ。神躰ハ袋束ヲヨリホヒレサニテ。立像ナ
リ。長一尺三寸許。例祭八月二十二日。社ハ西向ニ
テ。ニ間四方。村内寶塔院持ナリ。

太神宮

除地一六畝

是モ巽ニテ。山上ニアリ。前ニ

坂アリ。小社ニシテ。西ニ向テ。祠中ニ寛文及元禄

年中ノ棟札ヲオサムレド。勸請セシ年代詳ナラ

ズ。是モ寶塔院持ナリ。

第六天社

除地ニ畝

村ノ南ニアリ。小社ナリ。

稻荷社八ヶ所

除地各一畝

村ノ南及ヒ西ニアリ。イ

ヅレモ小社ニシテ。内一社ハ萬藏寺持。其餘ハ寶

塔院ノ持ナリ。

石神社

除地一畝

是モ西ニアリ。寶塔院持ナリ。

八幡社

除地一畝

是モ西ニアリ。本社一間四方ニ

テ。拜殿ヘツクリカケタリ。拜殿ハ二間ニ三間半。

本地弥陀ノ像長六寸許。例祭八月廿二日。是モ萬

藏寺持ナリ。

天照太神宮社

除地一畝

西ニアリ。小社。萬藏寺持ナ

寺院

寶塔院

除地ニ段三畝。又觀音堂除地八段九畝七步

村ノ契ニアリ。古義真言宗。橋樹郡鳥山村三會寺
末。高一作弘。猿山ト號ス。當寺モトハ字洞山ニアリ
レフ。何ノコロニヤ。此地ヘ移ヒリトイフ。開山詳
ナラズ。其後祐圓トイヘル僧。正徳年中堂宇ヲ建
立ヒレカバ。此僧ヲ中興開山トヒリ。本尊大日。坐
像長七寸許ナレフ安ス。客殿六間ニ五間。坤ニ向
テ。階數級アリ。

觀音堂 客殿ニ向テ左ニアリ。三間ニ三間半。本
尊ハ立像ニシテ。長二尺。堂ノマヘ右ノ方ニ石

萬藏寺

除地ニ
段三畝

村ノ西ニアリ。古義真言宗ニテ。

是モ本寺前ニヲナジ。光照山ト號ス。開山詳ナラ
ズ。過去帳ニ中興法藏法印。文祿元年ヨリ住職ト
載タレバ。ソレヨリサキニ開ケレ事レレベシ。本
尊彌陀。坐像長七寸許。客殿三間四方。東ニ向フ。
地藏堂 境内入口ノ左ニアリ。此堂古ヘハ村ノ
東ニアリレフ。近キ頃コノ地ヘ移ヒレトイフ。
既ニ元ノ地ハ。今ニ除地ニシテ。六畝十四歩ア
リ。堂ハ二間ニ三間半。東向ナリ。本尊坐像ニテ
四尺。ソノ餘一尺二寸ノ像。及ビ六寸許ノ像。百

林ノ安ヒシガ。今ハ客殿ニウツセリ。

中山村

中山村ハ。郡ノ中央ヨリ南ノ方ニアリ。右ハ師岡
庄小机領ト唱ヘシト土人云リ。江戸日本橋ヘハ九
七里ノ行程ナリ。民家スベテ三十五軒。村ノ四境東
ハ猿山村ニ接シ。西南ハ寺山村ニ界ヒ。北ハ青戸佐
江戸ノ両村ニ隣レリ。凡東西ハ六丁餘南北十丁ハ
カリナリ。村内中央ニ丘アリテ。スベテ畑多ク田少
シ。土性ハ黒土。或ハ赤土交レリ。御入國ノ後。正保
ノ頃ハ。植村五郎右衛門ガ知トコロニシテ。ソノ後

伊奈半十郎御代官所ナリ。又イツノ頃カ。高尾學
之丞采地ニ賜ハレリ。村内ニ条ノ道アリ。一条ヲ中
原道ト云。相列ヘノ往還ナリ。南ノ方寺山村ヨリ采
一。村内四丁バカリヲ過テ。東ノ方後山村ヘ達ス。又
一条ハ神奈川名ヘノ道ナリ。西ノ方寺山村ヨリ中
央ヲ二丁バカリ過テ。コレモ後山村ニ入ル。
高札場 村ノ中央ニアリ。

小名

馬口臺 東ノ方ニアリ。
落合 良ノ方ニアリ。

山川

ニガ木 コレモ同邊ヲ云。
戸出谷 南ノ方ヲスヘテ云。
中ノ町 村ノ中央ヲ云。
池ノ谷 巽ノ方ヲ云。
藪澤原 乾ノ方ニアリ。
恩田川 乾ノ方青戸村ヨリ入テ。東ノ方後山村ヘ
達ス。鶴見川ノ上ニシテ。川幅五六間ヨリ。十二間
ホドニ至ル。鄰村佐江戸村サカヒニテ。谷本川ニ
合シテ一条トナレリ。砂川ナリ。

橋梁

落合橋 東ノ方鶴見川ニ架ス。土橋ナリ。當村佐江

戸内村ノ持ナリ。長十二間。幅七尺ハカリ。

神社

八幡社 五除地十坪。村ノ北ノ方ニアリ。例祭定リナ

シ。村内長泉寺ノ持。

稲荷社 五除地五坪。字ニガ木ニアリ。コレモ長泉寺

ノ持。

稲荷社 五除地十坪。長泉寺ノ前ニアリ。同寺ノ持。

第六天社 十除地六坪ニ。村ノ北ノ方丘上ニアリ。長泉

寺持。

御嶽社 四除地十坪。村ノ東ヨリニアリ。コレモ同寺

ノ持。

駒形明神社 五除地七坪。巽ノ方丘上ニアリ。同寺ノ

持。

稲荷社 五除地十坪。字藪澤原ニアリ。同寺ノ持。

杉山社 五除地十坪。御朱印地ノ内。覆屋三間ニ三間半。南ニ

向。例祭八年々十月二十八日。社前ニ木ノ鳥居ヲ

夕ツ。柱間八尺ハカリ。神躰ハ木ノ立像。長一尺。村

内ノ鎮守ナリト云。

末社

天王祠 本社ニ向テ右ノ方ニアリ。

太神宮祠 コレモ同ジク右ニアリ。

山ノ神社 九除地 東南ノ方丘上ニアリ。長泉寺ノ

待。此地ニ神木トテ蟠タル大松アリ。

寺院

長泉寺 御境内 印地ノ内 村ノ中央ニアリ。古義真言

宗。福樹郡鳥山村三會寺末。壽保山寮申院ト號ス。

開山ハ寺傳ヲ失ヒタレド。中興開山ヲ玄融ト云。

元和六年六月寂ス。客殿八間ニ六間。南ニ向テ本

尊不動ハ。座像ニテ。長三尺ばかり。古佛ナレトモ。

ソノ作ヲ傳ヘズ。慶安二年八月十七日。不動堂領

五石ノ御朱印ヲ賜ハレリ。

観音堂 三間四方。西向ナリ。客殿ニ向ヒテ右ノ

方ニアリ。本尊聖観音。座像ニテ長一尺八寸バ

カリ。

大藏寺

除地三反 三畝十歩 村ノ南ニアリ。禅宗曹洞派。同

郡長津田村大林寺末。廣福山ト號ス。開山顯堂長

察。寛永九年八月二十六日寂ス。本尊虚空藏。座像

ニテ長三尺ばかり。客殿八間ニ六間。東向ナリ。

稲荷社 門前ニ建リ。

複下村

複下村ハ郡ノ中央ニアリ。江戸日本橋へ行程八里
餘。昔ハ小机百八郷ノ一ニテ。小机庄ノ内ナリレガ。
今ハ其唱ヘテ失ヘリ。當村開墾ノ年代ハ傳ヘザレ
ド。小田原北條氏役帳ニ。三郎景虎ガ知行。百五十六
貫八拾二文。小机荏下トアリ。鄰村十日市場村。其時
代ハ知レド。此村ノ分郷ナリト土人ハイヘリ。又
昔ヨリ久保寺山。墓。中山。小山。十日市場。六村ノ元郷
ナリトモ傳フレヨシ。ニサレク證トスベキコトナ

ケレハ詳ナラス。或ハ慶長九年。分郷ヒシトモイヘ
リ。此地ハ御入國ノ後。御料所ニテ。慶長ノ頃。久保
村ト同ク。村高ノ内。二百三十四石餘。比企藤右衛門
采地ニ賜リ。元禄九年。比企藤十郎代ニ至リ。故アリ
テ家廢セラレ。領地ハ皆御料ニナレリ。同十五年。醫
師謙光院法印ニタニハリ。延享四年。ソノ子孫太田
道壽ノ時。又事アリテ上地トナリ。其後御代官替々
支配シテ。今ハ小野田三郎右衛門預リ奉リヌ。檢地
ハ慶安年中。及ビ元禄八年。安藤對馬守重治タビセ
レト云ツタフ。按スルニ久保村傳説ニヨレハ。慶安

元年。比企次左衛門采地ノ内ヲ檢地ヒレナルベシ。
村ノ廣狹ハ。東西ニ二十丁。南北ニ僅ニ五丁許。坤ノ
方山林アリテ。地形高ク。東北ノ方ヘハ。打開ケテ水
陸ノ田相半セリ。土性ハ黑赤土。或ハ野土等ナリ。四
境ハ東ノ方鶴見川ヲ隔テ。小山村ニ界ヒ。北モ又鶴
見川ヲ隔テ。十日市場村ニトナリ。ソレヨリ西ノ方
モ。ニ夕同村ニ交ハリ。南ハ久保村ニツバケリ。家數
四十六軒。村内一条ノ道アリ。幅ニ間許。巽ノ方久保
村ヨリ入。北ノ方十日市場村ヘ達ス。コレ神奈川宿
ヨリ八王子道ヘノ往來ナリ。

高札場

神奈川往來ノ路傍ニアリ。

小名

道齋 東ノ方鶴見川ノ邊ニアリ。三畝斗

ノ處ナリ。ワケアル名ナルベケレドモ。

ソノ故ヲ傳ヘズ。

齋神所 コレモ東ニヨリテアリ。或ハ齋

神堂トモ云。

鎌立 坤ノ方山林ノ下ヲ云。

圓生坊 南ノ方久保村界ヒニアリ。

越中原 古ハ越中ト云人住ヒリト云。北

ノ方ナリ。

安臺 久保 村ノ巽ノ方ナリ。

穴谷 西ノ方山林ノ内ナリ。此邊狐穴多

アリトゾ。此アリニ曲トア坂ア

リ。

狸穴 コレモ同じ邊ニアリ。以下三ヶ所

モ同じク西ノ方ニヨレリ。

油窪

目法房

籠場 此邊ノ谷ニ洞穴アリ。窟ハ入處廣

六尺四方ホド。ソノ数ニツ並ビテアリ。
穴ノ奥ニ横穴アリテ相通ビ。窟中ヲ
ノヅミテ手ヲ拍ハ。カニミトヒバクエ
ヘ。土人コレヲカニノアナト名ヅク。
常見谷 坤ノ方ニアリ。或ハ淨見谷トモ
書リ。

百久保 穴谷ヨリ猶西ノ方ニヨレリ。

條向 東ノ方ヲ云。

瀧ノ前

勝負谷 ニケ所トモ南ノ方ヲ云。

長町

子グルミ ニケ所東ヲ云ヘリ。

山川

鶴見川 北ノ方十日市場村ヨリ入。村内ヲフルコ

ト二十丁許ニシテ。小山村ニ達ス。

水利

溜井 宗鎌立ニアリ。溜ハ畝バカリ。此水ヲ引テ用
水ノ取トセリ。末ハ鶴見川分水ノ流ニ合ス。

用水 鶴見川ヲ分水シテ。村内ニソ、グ。久保村ノ
内。久保谷ヨリ出ル清水合レテ一流トナリ。又久

保村。入レ。

懸埋極三ヶ所。村ノ東ノ方表耕地。アリ。長四間。

ノノ餘ニヶ所モ同所。アリ。共。長二間。

堤。字谷川通り。アリ。長三百間許。

神社

八幡社。見捨地。村ノ中央ヨリ少レク東ノ方。

アリ。社ハ二間。ニ間半。南向ナリ。木ノ鳥居ヲ立。

八幡宮ノ三字ヲ扁ス。村内圓光寺持。以下ノ六社

モ同寺ノ持。

八幡社。見捨地。村ノ東。アリ。覆屋二間。ニ間

半。南向ナリ。共社ヲ後家八幡ト呼ブ。前ノ水田ヲ

後家谷田場ト云。其名ノ起リヲ尋ル。五家ノ訛

ナレヨレ。モト村内五軒ノ百姓。鎮守ニ勸請レ。棟

札ニモ此五軒ノ名ヲ録スルノミテ。必他人ヲ

加ルコトナレ。アルトキ他人ノ名ヲ加ントテ。爭

論ノコト起リシガ。古例ニ隨ヒテユルサズ。其五

人ハ。今ノ喜左衛門。忠左衛門。孫左衛門。惣兵衛。忠

右衛門等ナリ。

神明社。見捨地。村ノ東。アリ。覆屋二間。三間。

南向ナリ。以上三社トモ。例祭毎年九月。一社ツ

ツ順年ニ祭ル。其日ヲ定メズ。

山王社 見拾地 村ノ良ノ方ニアリ。社前ニ塚アリ。

高五尺ハカリ。周廻十五間餘。其由来ヲ知ズ。

白山社 見拾地 村ノ東ニアリ。小祠。

稻荷社 見拾地 字表耕地ニアリ。

第六天社 見拾地 稻荷社ヨリ良ノ方ニヨレリ。

寺院

圓光寺 見拾地ニ 村ノ東ニアリ。古義真言宗。橋

樹郡鳥山村三會寺末。末光山彌陀院ト號ス。客殿

五間半ニ十間半ノ平屋ナリ。坤向。本尊彌陀木ノ

立像長三尺許。行基菩薩ノ作ト云。開山開基ヲ傳
ヘズ。

榎下村
榎村

榎村ハ郡ノ南方ニアリ。民家二十八軒。東ハ川向青
ノニ村。及ビ南ヘカ、リテ。寺山村ニ接シ。西ハ白
根ニテソレヨリ北ヘハ。久保小山ノニ村ナリ。東西
十丁。南北五丁ハカリ。村ノ地高低山林ウタ交リタ
レド。西南ハスベテクカク。東北ノ方ハ平ラカニシ
テ。水田スクナク。陸田多シ。用水不使ナレバ。天水ヲ
貯ヘテ水田ニ汰グ。水旱ノ兩災ナレ。土性ハ黒土又
赤土ニシハレリ。農隙ノ時薪ヲ採リ。及ビスコシノ

炭ヲ燒テ。橋樹郡神奈川驛へヒサケリ。當村開墾ノ
年代ヲツクヘズ。御入國ノ後。笠原基ニ賜リ。今子
孫平吉ガ知行所ナリ。サレド賜リシ年代ノ傳ヘス。
按スルニ村内弘聖寺ハ。地頭笠原彌次兵衛開基セ
リ。コノ彌次兵衛ハ。寛永八年没セリト云ヘハ。コ
ヲ始テタマワリシモ。此人ナレベシ。檢地ハ寛文六
年ナレド。是モ水帳ヲ失スレバ。奉行ノ姓名等詳ナ
ラズトイヘリ。其項笠原氏ノ采地ナレバ。地頭ヨリ
糺セシナルベシ。
高札場 村ノ中央弘聖寺ノマヘニアリ。

小名

柳戸 村ノ東ニアリ。
八百代 是モ東ニアリ。
コレノ下 是モ東ニアリ。
御屋鋪竹藪分 是モ東ヲ云。
御藏屋鋪 是モ東ヲ云。
寺前 是モ東ヲ云。
後畑村ノ中程ニアリ。
臺ノ前 是モ中程ニアリ。
坂下村ノ西ニアリ。

中ノ谷 是モ西ヲ云。

信濃谷 村ノ南ニアリ。

アイコ畑 是モ南ヲ云。

久保ノ前 是モ同ジ邊ヲ云。

ワリ田 村ノ北ニアリ。

角之田 是モ同ジ邊ヲ云。

三段田 是モ同ジ。

上耕地 是モ同ジ。

三丁田 是モ北ニアリ。

三段臺 是モ同ジ邊ナリ。

ツルニキ田 是モ同ジ邊ナリ。

蛇田 是モ同ジ邊ナリ。

山川

恩田川 村ノ北ノ方久保村ヨリ入。當村ノ境ヲ流

レ、コト。長ニ丁餘ヲヘテ。東ノ方寺山村ヘ達ス。

砂川ニレテ。川幅ハ四間アリ。

原野

秣場 村ノ西南ノスミニアリ。段別五六丁ばかり。

神社

八幡社 除地ニ 村ノ中央ニアリ。丘上ニテ松杉

及ビ雜木數多アリ。社ハ一間半ニ間ニテ東
ニ向ヒ。ニハニ鳥居ヲタツ。夫ヨリワツカナル石
階アリ。村ノ惣鎮守ナリ。勸請ノ年代ヲツタヘス。
神躰ハ八幡及ヒ本地彌陀ノニ軀ヲ安スイツレ
モ木ノ産像ニテ。タケ三寸ハカリナリ。例祭十月
十六日。中山村長泉寺持。

末社

稲荷祠

神明祠

春日祠

何レモ本社ニ向テ左ニアリ。東向。前ニ鳥居ヲ
タツ。

稲荷社

除地ニ
十四歩

村ノ西ニアリ。是モ同寺ノ持ナ

稲荷社

第六天社

天神社

子神社

何レモ西ニアリ。除地各二十四歩ツ。小祠ニ
テ同寺ノ持ナリ。

寺院

弘聖寺

除地一段
五六畝

村ノ中央丘上ニアリ。禪宗曹

洞派。檜樹郡小机村雲松院末。大悟山ト號ス。開山

明岩ハ。寛永八年正月五日示寂ス。開基ハ笠原彌

次兵衛ナリ。法諡ヲ透嶽玄徹居士ト號ス。寛永二

年九月七日没ス。客殿六間ニ五間。東ニ向フ。本尊

釋迦ノ座像。二尺五寸ナルヲ安ス。聖德太子ノ作

ナリト云。

白山祠 客殿ニ向テ右ニアリ。

塚

塚 村ノ東ニアリ。高六尺ワタリ。二間ナリ。供養塚

ト唱ルノミニテ。来歴ハ詳ナラス。

十日市場村

十日市場村ハ。郡ノ中央ヨリ少シク南ニヨレリ。右
ハ。榎下ノ分郷ニテ。即岡庄小机領ト唱ヘシカド。
今ハ神奈川領トノミトナヘリ。村名ノ起リハ。昔此
所ニ毎月十日。市立シニヨリテ名トヒリト云。隣村
長津田村ニモ市場原ナド云字残レリ。四境東ハ榎
下村。西ハ大牙シ。又恩田川ヲ隔テ。小山村ニモ塚ヒ。
西ハ長津田村ニ交リ。南ハ久保上川井ノ両村ニテ。
北ノ方モ恩田川ヲ隔テ。恩田西八朔ノ二村ニツ

ケリ。村ノ廣狹ハ。凡東西へ二十五町。南北十八町。セ
バキ所。至テハ。僅ニ一二丁ニ過ズ。村内山林高低
アリ。田畑等分ニシテ。土性ハ黒土砂交レリ。檢地ハ
寛永十六年トノミ傳ヘテ。其人ノ姓名ヲ知ズ。今鈴
木榮次郎。細井左次右衛門。細井新之丞。三給入會ノ
糸邑ナリ。細井ニ家ハ。兄弟ノ家ニテ。寶曆ノ頃。左次
右衛門家ヨリ分地セルト云。民家スベテ五十八軒。
江戸日本橋へハ。行程九里。神奈川驛迄ハ。三里半ヲ
ヘグツ。村内一条ノ道アリ。幅ニ間ハカリ。村内ヲフ
ルコト九二十丁。神奈川ヨリ八王子邊へノ往來ナ

リ。地頭林ニケ所。スベテ三丁ハカリ。共ニ村ノ西ニ
アリ。

高札場 村ノ西ニヨリテアリ。

小名

北門 村ノ西長津田村ノ塚ヲ云。近郷ノ
モノコノ字ヲ呼テ。村名ノ如ク通稱ヒ
リ。

茶飯谷 西ノ方ニテ。鎌倉道ト唱フル往
還一条アリ。以下ニケ所モ西ニアリ。

角田

鏡谷

五段田 北ノ方ヲ云。

細町 村ノ東ヲ云。此邊ニ細田廣町ナド

云モアリ。

松原谷 南ノ方ナリ。以下四ヶ所トモニ

同ジ邊ナリ。

ゾウガ谷

内平

狹窪

中杉

餅塚 西ノ界ヒニアリ。此邊ヲ古ヘノ録

倉道ナリト云。高四五尺。周廻十五間ハ

カリ。ソノカミ老婆アリテ。餅ヲ此所ニ

テ嚮レ故。カクヨベリト云傳ヘリ。

山川

恩田川 長津田村ヨリ来リ。樓下小山兩村ノ間ニ

達ス。村内ヲ流ル。コト九ニ十丁。用水ニモ恩田

村ニテ。此川ノ水ヲ堰入。コノ堰七ヶ村組合持ニ

テ當村モ此分水ヲ引用ユ。

巖窟 村ノ東山丘ノ崖ニアリ。コノ所古ヘノ鎌倉

道ナリ。其頃何人カ此窟内へ入テ自殺セシトテ。今ニ五輪ノ石塔アリ。中ノ廣ハ一坪四方モアル。近來入口ニハミテ。入コトヲ得ズ。

橋梁

カク橋 恩田川ニ架ス。雙木橋ナリ。長八間バカリ。西八朔村へノ往来ナリ。

神社

第六天社 除地一畝 村ノ中央ニアリ。村ノ惣鎮守トス。修驗般若院持ナリ。今ハ祠ヲ廢ス。

子神社 除地一畝 村ノ北ニアリ。覆屋ニ間四方。西

向ナリ。神躰ハ銅鏡ノ内ニ。彌陀ノ像ヲ鑄出セリ。圓徑五寸。恩田村滿福寺持。例祭ハ九月初ノ子日ナリ。

神明社 除地四畝 東ノ方榎下村サカヒニアリ。上屋

二間半四方。南向ナリ。例祭ハ六月十六日。小山村觀音寺持ナリ。

稻荷社 除地五畝 字中村ニアリ。上屋七尺ニ九尺。西

向ナリ。榎下村圓光寺持。

寺院

寶袋寺 除地八畝 字中村ノ内。鈴木采次郎ノ采

地ニアリ。禪宗曹洞派。長津田村大林寺ノ末。八幡山ト號ス。客殿九間ニ六間。西向ナリ。本尊聖觀音。木ノ座像長一尺バカリ。運慶ノ作ナリト云。開山顯堂長察。寛永九年八月二十六日寂ス。當寺ノ邊ニ。字慈性寺ト云フ所アリ。谷間ナレバ。其所クホトシ地ニシテ。藥研ノ形ニ似タリ。古ヘコ、ニカノ慈性寺トイヘルアリシヨシ。後廢寺トナリ。當寺ヲ起立セリ。寺跡ハ三段バカリノ處ニテ。夕ニ夕ニ古キ巾着ヲ堀出シシコトアレニヨリ。寺號トセシト云。是ハウキタル説ナリ。門ハ西ニ向ヘ

リ。當寺ニ北條家ヨリ開江聖へ與ヘシ文書ナリトテ。一通ヲ藏セリ。是モ寺院ニアツカラザレド。古キモノナレバ。文左ニノス。按ニ此文書ノ宛所ニ。上総入道トアリ。江雪ハ越中入道トヨビテ。上総トイヒシコトヲ聞ズ。サレバ別人ニ與ヘシモノナラズヤ。

定案

了事付了。神中。亦。了。定。為。
 軍法。之。亦。一。為。軍。中。遠。指。是。又
 改。了。了。事。付。了。事。

已上

右定不詳

卯月云

上總合方

北條氏虎印

八幡社 後背ノ山上ニアリ。覆屋ニ間四方。坤向
 ナリ。神躰ハ画像ニテ。近代ノモノナリ。
 鐘樓 客殿ニ向テ左ノ方ニアリ。元文五年ノ銘

文アリ。後證ニ益ナケレハ暇ス。

光安寺

除地
八畝

村ノ中央ニアリ。禅宗曹洞派。長津

田村大林寺ノ末。藥王山ト號ス。本尊藥師。客殿共

近年焼失シテ。未再建セス。開山開基等詳ナラス。

長光寺

除地
九畝

村ノ東。榎下村サカヒニアリ。淨土

宗。二股川村淨照院ノ末。一流山ト號ス。無檀ノ寺

ナリ。本尊彌陀。長ニ尺五寸ハカリ。木ノ立像ナリ。

客殿四間半ニ五間。良ニ向フ。コレモ開山ヲ傳ヘ

ス。

般若院

境内年
貢地

村ノ中央ニアリ。當山派ノ修驗

ナリ。

西八朔村

西八朔村ハ。郡ノ中央ニアリ。古ハ小机御師岡庄小机領ニ属ストイヘド。今ハ神奈川領ニ属セリ。按スルニ此邊ノ村々。コノ御庄ノ内ナリヤ。今傳ヘザル所多シ。當村西北ニ分ツコトハ。其年代ヲ傳ヘズ。小田原北條分國ノ頃ハ。二十三貫百八十文。小机八朔笠原藤左衛門。廿貫四百八十文。小机八朔代官小野典三郎ト記シアレバ。其頃ハイニグ東西モ分タサリシニヤ。御入國ノ後。正保ノ頃ハ。ハヤ分テテ唱

リ。江戸日本橋ニテ行程九里。村ノ廣狹ハ。東西へニ
 十丁。南北モ二十丁ニスギズ。四隣東ノ方ハ。北八朔
 小山ノニ村ニヤカヒ。南ハ十日市場村ニ接シ。西ハ
 恩田村ニ及ビ。北ノ方ハ下谷本村ニ續ケリ。土地平
 カナラズシテ山林アリ。畑ハ多ク。田ハ少シ。家戸四
 十五軒。正保ノ頃ハ。御料ノ方。伊奈半十郎預リ奉リ。
 私領ハ。久世大和守。依田勘三郎。原太兵衛等ガ知ト
 コロナリ。元禄十一年。朝倉鞆負ノ先祖ニ賜リテ。今
 ニ替ラス。此外依田藤三郎。原辰之助ガ知行モアリ。
 檢地ハ延寶二年。伊奈半十郎糾セリト云。地頭林ト

唱フヘ所一ヶ所ハ。朝倉鞆負ノ方ニテ。八段一畝ハ
 カリ。東ノ方ニアリ。一ヶ所ハ。依田藤三郎ノ采地ニ
 アリ。七段六畝バカリ。此外百姓ノモテル林モアリ。
 高札場三ヶ所 共ニ村ノ中央ニアリ。

小名

腰ニキ 北ノ方ニアリ。以下ニヶ所同ジ
 邊ニアリ。

隼人谷

平林

仙學坊

東ノ方ヲ云。

水藏谷 同ジホトリナリ。以下三ヶ所モ
同邊ナリ。

坊下

エゴ田

四段畑

ゼン治谷 西ノ方ニアリ。

イナゴ原 コレモ西ニヨレリ。

山川

恩田川 西ノ方恩田村ヨリ村ノ中央ヲ流レ、コ
ト九十八丁ニシテ十日市場村ニ達ス。川幅四五

間許。此川ニ漆フテ長三十間アコリノ堤ヲ築ケ
リ。自普請所ナリ。用水ニモ此枝流ヲ引分テ。村内
ニソ、ギ、小山村ニ通ビリ。

神社

杉山社 村ノ東方ニアリ。上屋三間四方。内ニ小祠
ヲ置。南向ナリ。社前ニ鳥居ヲ立。昔ハ西北兩村ノ
鎮守ナリシガ。今ハ當村ノミナリト云。北ハ朔村
ノ小名ニ。鳥居戸ナド云所アリ。元此社ノ一ノ鳥
居其所ニアリシトイヘバ。西北一村ナルコトハ。
自ラ知ベシ。村内ニテ五石六斗ノ社領ヲ附セラ

ル。例祭年々八月朔日。此日ヲ月ニハ。村名ニヨレ
リナド云。サモアルニ。神跡ハ不動ノ立像ニテ
長一尺許。

別當極樂寺 新義真言宗。王禪寺村。王禪寺末。願
弘山蓮花院ト號ス。中興開山元海。天文二年ニ
寂ス。客殿九間ニ七間。南向ナリ。本尊大日ハ。座
像ニテ長一尺許。慶安年中社領ノ 御朱印ヲ
賜フ。其文左ニノス。

武藏國越前郡八羽村。

極樂寺松山明神社殿。同村
之内石六平事。但左院寄
所ニ就。令テ收納。并 境内山林
竹木法海亦免除。如ク未永
不了有。お遠者也。

慶安二年八月廿日 御朱印

末社

八幡社 本社 = 向テ左ノ方 = 祠ヲ立。

寶生權現社 本社 = 向テ右ノ方 = アリ。此神躰

イカナレモノヲ祭リシヤ。詳ナレコトヲシラズ。

觀音堂 向テ左 = アリ。三間四方。十一面觀音。木

像 = レテ長二尺ハカリ。

鐘樓 門ヲ入テ左ノ方 = アリ。明和五年ノ銘アリ。

後證 = 益ナケレハ略ス。

神明社 除地 林 村ノ南 = アリ。僅ナル祠ヲ立。南

向ナリ。西光寺持。以下三祠モ同寺ノ持ナリ。

熊野社 除地 畝 村ノ東ノ方北八朔村ヲカヒ = ア

リ。社ハ南向 = 立リ。

社宮神社 = 除地 七畝 村ノ西ノ方 = アリ。巽向ナ

リ。石神ノ社 = ヤ。

稲荷社 除地 七歩 小名イナゴ原 = アリ。

寺院

西光寺 除地 村ノ東方 = アリ。新義真言宗。王禪

寺村王禪寺末光明山ト號ス。開山朝秀。天正五年

七月十五日寂ス。本尊不動。立像長三尺許ナルヲ

安ス。客殿七間。五間。南向ナリ。

天神祠 境内ニアリ。

観音堂 除地ニ 村ノ中央ニアリ。堂ハ三間四方。

東向ナリ。聖観音立像ニテ長ニ尺バカリ。西光寺持。

観音堂 陣屋敷ニアリ。堂ハ三間四方。南向ナリ。聖

観音ハ立像ニ尺バカリ。村内極樂寺ノ持。

舊跡

陣屋敷跡 東ノ方北八朔村ヤカヒニアリ。一段ハ

畝十二歩許。誰人ノ住居セルト云コトヲ傳ヘズ。

塚

塚 小名イナゴ原ニアリ。此塚ヲ穿テハ土器ノ損

ヒレ物ナド出レト云。コノ邊モカノ陣屋ナドノ

跡ナリト。土人ハイヘリ。塚ノ高ハ三尺許。月廻モ

三間程アリ。

北八朔村

北八朔村ハ郡ノ中央ニアリ。八朔ハモト假借ノ字
ニテ。和名抄ノ御名ニシテ。針圻ノ地ナレバキ
トハ。己ニ郡ノ惣説ノ下ニ辨ゼシ如クナリ。小机
庄ト唱フ。江戸日本橋ヘハ。行程八里。村ノ廣狹ハ。東
西ヘ二十丁。南北十丁バカリ。四隣ハ東ノ方谷本川
ヲ隔テ。川和村ニ以ヒ。南ハ小山青戸ノ兩村ニ接シ。
西ハ西八朔村ニテ。北ハ市ケ尾村。人谷本川ヲ隔テハ。
下谷本村ニモ續ケリ。民家六十五軒。村内高低山林

在テ。土性ハ黒土ナリ。陸田多シテ。水田少シ。當村西
北ノニ村ニ分レレハ。イツノ頃ニヤ傳ヘズ。小田原
家人所領役帳ニ。小机八朔廿三貫文。笠原藤左衛門
廿貫四百八十文ハ。三郎景虎ガ知レ所ニシテ。代官
小野典三郎ト記セリ。御入國ノ後ハ。元和七年。板
倉内膳正重昌ノ領地ニ賜ハリ。寛永十八年ノ頃。青
山因幡守ガレレ所ニテ。其後久世大和守ガ領地ト
ナリ。寛文九年ヨリ。御料所ニナリテ。伊奈半十郎支
配セシガ。同ク十一年。又板倉内膳正ノ采邑トナリ。
翌十二年ニ上リ地トナリ。同年ヨリ甲斐庄喜右衛

門ノ知行ニシテ。延寶二年ヨリ。又御代官所ニ復セ
レガ。元禄十一年八月。高尾阿波守ニ賜リテ。今ノ子
孫高尾學之丞知行ス。
高札場 村ノ中央ニアリ。

小名

谷津田原 南ノ方ヲ云。
クボ田 東ノ方ヲ云。
カノコ嶋 コレモ東ノ方ニアリ。其形ノ
嶋ニ似タレハ。此名アリレモ知ベカラ
ス。

佐牟佐井 西ヨリテアリ。

竹ノハナ 村ノ北ノ方ヲ云。以下六ヶ町

モ同ジ邊ニアリ。

天神木

榎谷戸

森

柳町

藏ノ下

岩瀬

山川

谷本川 西谷本村ヨリ當村ヲ經テ青戸村ニ達ス。

川幅十二間ホド。砂利川ナリ。

橋梁

精進場橋 谷本川ニ架ス。當村ヨリ川和村ニ達ス。

長十五間。幅一間半ナリ。當村ト川和下谷本ニ村

ヲ組合ナリ。村民等此川ニテ潔齋シテ垢離ヲト

ルコトニ、アリ。故ニ此名アリレモ知ベカラス。

水利

溜井四ヶ所 一ハ北ノ方ニアリ。青山因幡守采地

タリレ時堰ニト云。長三十九間。横三十四間ナリ。

一ハ同ジ邊ニテ。長ニ十七間。横ニ十一間。久世大
和守當村ヲ領セシ時。堀シト云。一ハ新池トテ。長
三十三間。横十七間。村ノ西ニアリ。寛文中伊奈
半十郎支配ノ時。堀シト云。残り一ツハ。東ノ方
アリ。今ハ北ノ方ニケケ所ノミヲ。用水ニ引
ケリ。

神社

十二天社 十除地ニ 村ノ中央ニアリ。上屋三間
一間半。東向ナリ。内ニ小祠ヲ置。例祭ハ年々八月
五日。村ノ鎮守ニテ。村民ノ持ナリ。勸請ハ慶安ニ

年久世大和守領地ノ時。久良岐郡本牧ニアリ。十
二天ヲ。當村ニモ勸請セリト云。社前ニ鳥居アリ。
末社

辨天社 右ノ方ニアリ。

天神社 見拾地 字天神木ニアリ。北向ナリ。村民
ノ持。

天神社 村ノ中央ニアリ。百姓次郎右衛門ガ地内
ナリ。

寺院

宗泉寺 除地 村ノ中程ニアリ。禪宗曹洞派。長津

田村大林寺ノ末。放光山ト號ス。開山顯堂。寛永八年八月二十六日寂ス。客殿七間。六間。東向ナリ。本尊釋迦。立像。一ツ長二尺ハカリ。湛慶ノ作ナリト云。

秋葉社 境内山上ニアリ。

山王社 同山下ニアリ。

新編武藏風土記卷之八十三終

